

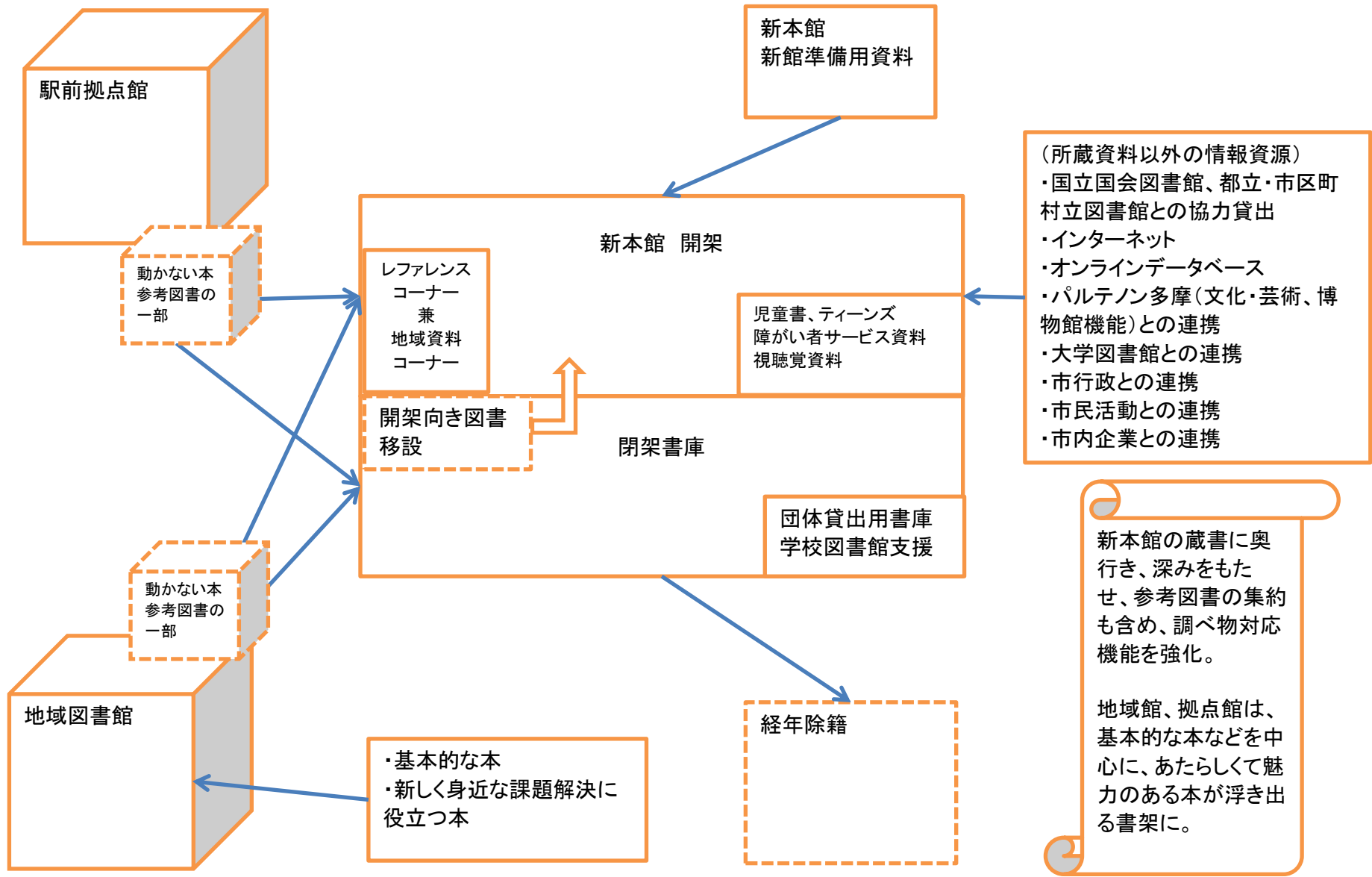
◇ 全館資料の再編と新本館の資料構成

○ 多摩市立図書館 資料再編に向けての方向性等

項番	基本構想、基本計画での意見等	方向性、具体策
1	多様な図書を購入しているが、地域館・拠点館に分散的に所蔵。利用者は一図書館でアクセスできていない。	同程度規模の横並びから、役割分担に応じて、所蔵規模、蔵書構成等を見直す。 ○ 中央図書館開架増 ○ 中央図書館書庫増
2	中央図書館には、一箇所ですべての資料にもつながる蔵書、専門的で奥行きのある蔵書、調査や郷土や行政資料の充実が一般的。 中央館の資料は広がりとお行きを持ち、ここにくれば一箇所で予約取り寄せしなくても、ことが足りる資料世界構築をめざしたい。	全館資料の本籍固定（固定後も意識的に変更は可能） 中央図書館開架、書庫の充実 レファレンスや地域資料研究のための蔵書を集約 ○ 資料本籍固定（他館返却時は戻す。他館資料取り寄せは従来どおり。本籍変更は手動で可） ○ レファレンス用参考図書の充実
3	地域館、拠点館には、複本としての子どもや成人むきの基本的図書を揃え、奥行きの資料は中央館から取り寄せます。新聞や雑誌などのニュース情報はインターネット端末とともに備えたいところです。 地域館には、子どもには基本図書・絵本・読み物を複本として常備させ、一般は、動かない本を引き上げ基本的で新鮮な資料と新聞雑誌は揃えたい。	地域館、拠点館で動きのない資料について、中央館に移籍 地域館の新しい資料の比率を上げて、書架の魅力向上 ○ 地域館、拠点館から、動かない本を中央館の開架又は書庫への移管 ○ 地域館について、身近な課題解決等に必要なものを中心に補充 ○ 雑誌の配分については、全館の見直しが必要
4	過去の地域の遺産、記憶を収集して、アーカイブのような働きにまで高めるには、学芸員や自然科学の研究者との協力関係づくりが必要です。	図書館、パルテノン多摩（博物館機能）、文化財担当で、資料収集や市民サービスについての役割分担 ○ 地域資料の開架増
5	現在進行形の、まちづくりに関わる行政や議会の情報や地域のオープンデータの収集開示の連携も期待されます。	市民活動も含めた地域の資料収集範囲の見直し 行政資料室と中央図書館との役割分担の見直し ○ 歴史的公文書の公開 ○ 地域資料の開架増

項番	基本構想、基本計画での意見等	方向性、具体策
6	<p>関戸公民館の市民活動情報センターには女性学図書群が図書館とは独立して配置してあります。市内施設に分散する専門的で魅力的な資料についても共通書誌MARCにのせ、所在検索がどこからでもできるようにしていきたい。</p>	<p>目録情報の集約・公開に向けての検討</p>
7	<p>行政との連携や創業支援まで行う場合、永山図書館で行っても良い。</p>	<p>ビジネス支援、創業支援についての資料や連携についても検討</p> <p>○ 中央図書館や永山図書館で、学習席、オンラインデータベースなど充実</p>
8	<p>子どもと高齢者へのアウトリーチサービスを強化するよう意見が出た。</p>	<p>アウトリーチサービスに必要な資料や体制の検討</p> <p>○ 団体貸出室の確保</p>
9	<p>音声・映像のCD、DVDなどを、主題別に混配し構築したい。</p> <p>多摩市に関わるアニメや、漫画表現の主題資料も検討する。</p> <p>専門的データベースを含むデジタル情報資源の提供を検討。</p> <p>電子図書が利用できるとか、ミュージックライブラリーなど。お金をかけて作ってしまって、メディアとして連続性があるのか疑問がある。</p> <p>パルテノン多摩との連携については、視聴覚・博物館部門はあるので機能が重複しないよう役割分担したい。</p>	<p>視聴覚資料、電子書籍、アニメ、マンガなどの収集範囲等についての検討</p> <p>○ 視聴覚資料、アニメ、マンガについて、多摩に関連のあるものについての収集</p> <p>○ 視聴ブースの確保</p> <p>○ 電子書籍について検討</p>

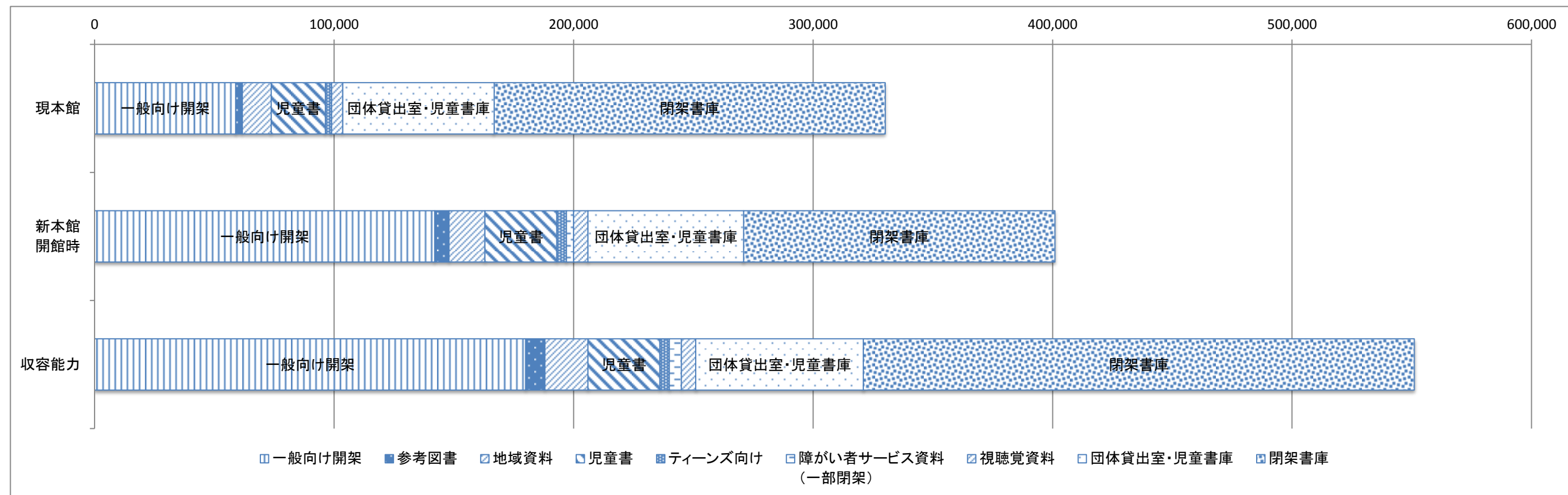
■ 全館資料再編のイメージ



■ 新本館資料構成のイメージ（目標値）

単位：冊

	現本館	新本館 開館時	収容能力	備考	
開架	一般向け開架	58,968	142,000	180,000	拠点館、地域館から、動かない本を移管（一部は書庫へ）
	参考図書	2,697	6,000	8,000	拠点館、地域館から、一部移管（一部は書庫へ）
	地域資料	12,061	15,000	18,000	本館の地域資料準備室から開架（レファレンス・地域資料コーナー）へ
	児童書	22,626	30,000	30,000	現本館から移設、充実
	ティーンズ向け	2,621	4,000	4,000	現本館から移設、充実
	障がい者サービス資料 （一部閉架）	35	3,000	5,000	永山図書館からバックヤード機能部分を移設（サービス機能は永山にも残す）
	開架小計	99,008	200,000	245,000	
視聴覚資料	4,591	6,000	6,000	現本館から移設、多摩市関係資料については充実。旧媒体は整理。	
閉架	団体貸出室・児童書庫	63,225	65,000	70,000	現本館から移設。団体貸出・学校図書館支援機能と、児童書開架調整用書庫機能の分離を検討。
	閉架書庫	163,271	130,000	230,000	現本館から移設。一部開架に適したものは、開架に移管。
	閉架小計	226,496	195,000	300,000	
合計	330,095	401,000	551,000		



新聞		雑誌		オンラインデータベース		インターネット端末(兼オンラインデータベース参照端末)	
現本館	新本館	現本館	新本館	現本館	新本館	現本館	新本館
10紙	20紙	80タイトル	200タイトル	4種	8種	1台	5台

※ 新聞・雑誌等のタイトル増にあたっては、分館との調整、資料費予算内の調整等が必要

○ 新本館資料構成のコンセプト

- 蔵書に奥行き・深みを持たせ、調べ物用の参考図書等も集約。調べ物等で必要な資料が一覧できる。
- 駅前拠点館、地域図書館で対応できない調べ物等にも、ネットワーク機能で対応し支援。（国立国会図書館、都立図書館、近隣公共図書館、大学図書館、専門機関等との連携も）
- 多摩センター地区の地域図書館としての機能も保持。児童書、身近な課題解決の本、たのしみのための本なども提供。
- 多摩中央公園を囲んで、パルテノン多摩の音楽堂・博物館機能とも連携。子育て機能との連携で、子どもが本に親しむきっかけにも。

資料収集計画に関連した主な論点

1 中央館、拠点館、地域館の役割分担

浦安市立など、中央館と地域館の役割を明確にしている図書館では、地域館では、「旅行書」「医学・健康」「家政学（料理、衣服、育児）」「児童書」「小説」の相対的な比率が高くなる。多摩市でも、これらの分野はよく回転率も高く、よく貸し出されており、新しい本を増やすことも含め、比率を調整する対応を。

2 地域資料についての行政資料室と中央図書館との役割分担

7つの図書館では、多摩市の歴史、予算書や決算書、パブリックコメント資料など、基本的なもの、その時点で必要なものを中心に置いている。一方、行政資料室では、多摩市の行政資料、ニュータウン資料、審議会等のファイル資料、行政支援に役立つ一般書や雑誌、政党新聞などを置いているが、本庁にあり、土日は閉館で、一般市民は利用しにくい。また、本館には「行政郷土資料準備室」（閉架）があり、ニュータウン資料を中心とした地域資料と、開架調整用資料などがある。また、歴史的公文書の今後の公開についても、図書館の役割として位置づけられている。

行政資料室と中央図書館の資料収集（収集範囲の拡大も含め）、サービス提供の役割分担が検討のポイント。

3 資料の本籍を固定するかどうか

多摩市立図書館では、一部を除き、これまで資料の本籍を固定せず、別の館で借りたものが、返却された館の資料として所在が変わる方式としている。自然に資料が動いて循環する可能性があるなど、利点として捉えられるものもある一方で、多巻ものがバラバラになったり、図書館ごとにねらいを持った書架とすることが困難になる、地域館で借りられた新しい本が駅前拠点館に返却されて、駅前拠点館では、書架にあふれた資料を検索して他館に転送する作業が発生するなどの弊害もある。

固定した場合、図書館ごとにねらった蔵書構成を固定できる。他館に返却された資料を戻す作業は残るが、検索して割り振る手間はなくなることが見込まれる。

4 参考図書を別置するか、混配するか

多摩市では、辞典・辞書類は、参考図書コーナーに別置している。しかし、例えば「葉の事典」など、それぞれの分野の一般書に混配した方が、利用者にとっても、レファレンスの相談に乗る図書館員にとっても良いのでは。

（0門や辞典など、参考図書コーナーに置いたほうがいいものもある。）

5 雑誌を「雑誌コーナー」に固めるか、混配するか

多摩市では、雑誌については、最新号、バックナンバーとも、雑誌コーナーに固めて置いている。雑誌コーナーが混み合った場合、アクセスが困難になることがある。(ベビーカーがあればなおさら)

例えば、「料理」など、分野が明確なものについては、最新号、バックナンバー含めて、一般書のコーナーに置いてはどうか。

6 障がい者サービスの展開について

障がい者サービス機能については、資料作製も含めたバックヤード機能も含め、永山図書館に集中している。(対面朗読等のサービス提供拠点としては、専用の対面朗読室や会議室利用を含め、永山以外でも展開している。)しかし、バックヤード機能については、資料の電子化が進む中で、手狭になっている。

司書集団の構築という意味でも、バックヤード機能について、中央館に移転してはどうか。

7 多文化サービスのための資料について

多摩市には、日本以外の様々な文化を背景に持つ市民がいる。切実な課題としては、小中学校における日本語による授業についていけない児童生徒もいる。図書館の資料としては、様々な文化、言語に対応した資料を収集していくべきか、英語と日本語の対訳、小中学生向けなど、ターゲットを絞るべきか。

8 視聴覚資料について

多摩市では、落語、朗読、音楽等のカセットテープ、CD を中心に、ある程度収集して貸出をしてきた。映像資料については、地域資料、地域課題に関連した公的機関の制作したものを中心に、ビデオテープを収集・貸出してきたが、フィクション/ノンフィクション含め、DVD 等の視聴覚資料はほとんど収集していない。ストリーミング音源を提供する図書館もある。多摩市立図書館として、視聴覚資料に取り組むべきか、その意義は。

9 マンガ、アニメについて

若者を中心とした不読率の上昇、活字離れが進んでいる。一方で、マンガについては、ドラマや映画の原作になるなど、受け入れられている。若者向けに楽しみを提供する媒体としては定着している。マンガやコミックについては、製本が壊れやすい、巻数が多くて管理が大変などの状況もあり、多摩市立図書館では、古典的なものや学習マンガのみの収集にとどめている。一方で、セット貸し等にとりくむ自治体もある。アニメについては、多摩市を舞台にしたものもあり、絞り込んで収集してはどうかとの意見もある。

1 0 電子書籍について

『出版年鑑 2016』によると、電子書籍の市場規模は、2013年度が936億円で、2014年度が1,266億円という伸びの状況。しかし、ジャンルはコミックが81%で文芸・実用書が19%という構成。『電子図書館・電子書籍貸出サービス調査報告2016』（植村八潮ほか編、電子出版制作・流通協議会、2016年）によると、電子書籍貸出サービスを実施している図書館は、2016年10月時点で53館。タイトル数や価格に課題は多いが、来館できない市民へのサービスには適している可能性が高い。いま積極的に取り組むべきか。

なお、雑誌についても「dマガジン」などネットで定額で利用できる電子的サービスが、2015年12月時点で会員数250万人を獲得。一方で紙の雑誌は、2015年の売上高が8.3%減。1996年に27.0%だった返品率は、2015年には41.6%という雑誌不況の時代。（『出版年鑑 2016』より）。学術誌を中心に提供されている電子ジャーナルについて、公共図書館での提供については？

1 1 全国の25,000分の1の地図について

関戸図書館開館時から約4,000点を収集し貸出。1枚ずつ折りたたんで、ケースに入れ、貸出可能としている。28年度の貸出は約200点。

全国をカバーし、点数が多く、買い替えについては、予算面、折り作業の手間などなかなか大変。地図については、国土地理院のサイトでの閲覧などもできる。

地域資料として必要な範囲に絞込みをし、残りは電子的閲覧のみとするか。

なお、同じ時期から、全国の電話帳を収集し、関戸・永山で閲覧に供している。（無償で入手し、館内閲覧のため装備もほとんど手間をかけていない。）全国から集まってきている多摩ニュータウンという特性に合わせて、全国の地形図、電話帳をカバーするというコンセプトはあり。（個人名での電話帳への掲載は、携帯電話の普及も含めて先細りではあるが。）

■ 【参考資料】多摩市立図書館 全館の蔵書数、蔵書回転率(平成28年度事業報告等より)

○ 蔵書冊数(平成29年3月31日現在)

	蔵書冊数			一般、10代、児童計	障がい者向資料	視聴覚資料	合計
	一般向	10代向	児童向				
本館	73,726	2,621	22,626	98,973	35	4,591	103,599
関戸	75,306	2,266	20,513	98,085	39	2,080	100,204
永山	73,096	2,500	22,300	97,896	2,791	1,899	102,586
東寺方	27,213	848	12,018	40,079	20	817	40,916
豊ヶ丘	40,096	1,830	13,921	55,847	26	1,475	57,348
聖ヶ丘	34,974	898	11,538	47,410	32	1,122	48,564
唐木田	30,895	1,579	13,912	46,386	25	1,177	47,588
行政資料室	9,859	0	0	9,859	1	39	9,899
書庫	162,299	922	41	163,262	0	9	163,271
団体貸出室	642	356	62,227	63,225	66	1	63,292
計	528,106	13,820	179,096	721,022	3,035	13,210	737,267

○ 蔵書回転率(平成28年度) ※ ここでの「一般書」は、地域資料、参考図書等は除いている。

	一般書			児童書			一般書+児童書		
	蔵書冊数	貸出冊数	回転率	蔵書冊数	貸出冊数	回転率	蔵書冊数	貸出冊数	回転率
本館	57,804	264,633	4.58	22,565	121,371	5.38	80,369	386,004	4.80
関戸	67,787	235,260	3.47	20,479	61,177	2.99	88,266	296,437	3.36
永山	63,266	319,964	5.06	22,267	97,843	4.39	85,533	417,807	4.88
東寺方	24,929	54,044	2.17	11,986	23,798	1.99	36,915	77,842	2.11
豊ヶ丘	37,336	114,876	3.08	13,887	22,203	1.60	51,223	137,079	2.68
聖ヶ丘	32,067	68,093	2.12	11,501	22,041	1.92	43,568	90,134	2.07
唐木田	28,856	81,661	2.83	13,892	31,453	2.26	42,748	113,114	2.65
計	312,045	1,138,531	3.65	116,577	379,886	3.26	428,622	1,518,417	3.54

○ 蔵書回転率(児童書分野別、平成28年度)

	児童											
	絵本			読み物(高学年)			読み物(低学年)			知識の本		
	蔵書冊数	貸出冊数	回転率	蔵書冊数	貸出冊数	回転率	蔵書冊数	貸出冊数	回転率	蔵書冊数	貸出冊数	回転率
本館	8,786	57,648	6.56	3,433	20,654	6.02	1,709	14,022	8.20	6,354	25,035	3.94
関戸	6,456	30,049	4.65	4,236	9,623	2.27	2,049	7,893	3.85	6,285	10,670	1.70
永山	7,542	46,806	6.21	4,701	14,557	3.10	2,190	14,236	6.50	6,616	17,300	2.61
東寺方	4,312	11,303	2.62	2,397	4,395	1.83	1,412	3,179	2.25	3,068	3,842	1.25
豊ヶ丘	4,646	10,070	2.17	2,839	3,972	1.40	1,370	2,466	1.80	4,144	4,386	1.06
聖ヶ丘	3,650	13,157	3.60	2,223	1,860	0.84	1,212	1,710	1.41	3,563	3,809	1.07
唐木田	5,109	16,187	3.17	2,703	4,459	1.65	1,479	4,320	2.92	3,755	5,474	1.46
計	40,501	185,220	4.57	22,532	59,520	2.64	11,421	47,826	4.19	33,785	70,516	2.09

■【参考資料】同一人口規模自治体図書館との地域中心館の規模等比較 ～『日本の図書館 統計と名簿 2016』より～

○ 条件

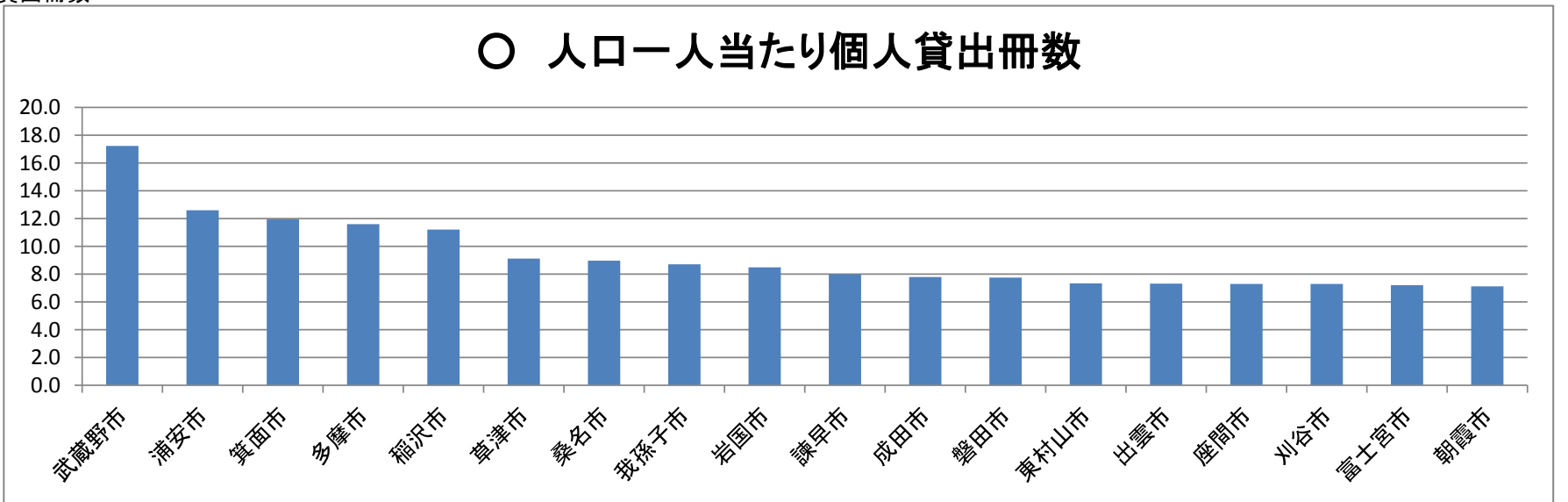
基本台帳人口 12万5千～17万5千の団体(四捨五入) 69団体
 うち、人口一人当たり個人貸出冊数 7.0冊以上 18団体 (69団体中、上位26.1%)
 ※ 人口一人当たり個人貸出冊数の全国市区立図書館の平均 5.48冊

団体名	基本台帳人口(千人)	人口一人当たり個人貸出冊数	全館蔵書数	中心館蔵書数	中心館開架冊数	中心館延床面積	中心館雑誌購入種数	総延床面積	中心館閉架冊数	資料費決算額(2014年度)(千円)				人口一人当たり資料費	中心館新聞紙数	中心館オンラインデータベース種数
										図書費	雑誌新聞費	視聴覚資料費	資料費合計			
武蔵野市	142	17.2	881	617	365	7,529	443	18,995	252	65,884	20,284	3,171	89,339	629	43	14
浦安市	163	12.6	1189	832	411	5,296	323	7,186	421	83,000	15,020	3,254	101,274	621	20	8
箕面市	135	11.9	773	366	163	1,910	149	7,758	203	45,075	6,841	510	52,426	388	28	N/A
多摩市	148	11.6	730	330	106	5,480	74	9,979	224	39,946	8,820	54	48,820	330	10	6
稲沢市	139	11.2	615	615	N/A	4,968	230	8,006		28,539	4,578	2,975	36,092	260		
草津市	129	9.1	485	323	143	2,781	190	3,741	180	24,728	4,794	709	30,231	234		
桑名市	143	9.0	532	327	190	3,169	118	6,696	137						17	
我孫子市	133	8.7	418	256	135	2,125	161	3,524	121	19,566	5,874	0	25,440	191	19	1
岩国市	142	8.5	617	N/A	N/A	4,278	265	6,989		37,221	7,267	1,261	45,749	322	63	
諫早市	141	8.0	804	435	377	7,405	402	13,364	58	47,074	9,778	4,232	61,084	433		
成田市	131	7.8	945	843	348	5,179	535	6,190	495	81,728	10,341	2,779	94,848	724	34	7
磐田市	171	7.7	826	390	N/A	3,560	79	8,749		23,976	4,728	1,690	30,394	178	10	
東村山市	151	7.4	700	194	104	1,582	98	5,043	90	33,606	4,533	780	38,919	258	22	8
出雲市	175	7.3	722	243	113	2,629	132	10,126	130	22,574	6,097	494	29,165	167	18	
座間市	130	7.3	411	411	335	3,524	280	3,524	76	15,993	3,373	917	20,283	156	16	
刈谷市	149	7.3	863	726	205	5,509	170	8,752	521	23,844	6,089	2,698	32,631	219	19	
富士宮市	135	7.2	540	423	175	3,802	220	5,088	248	31,327	4,589	1,940	37,856	280	27	6
朝霞市	134	7.1	528	528	398	2,752	294	3,311	130	24,064	6,099	1,036	31,199	233	34	3
平均	144	9.3	699	462	238	4,082	231	7,612	219	38,126	7,594	1,676	47,396	329	25	7

※ 新聞紙数、オンラインデータベース種数については、ホームページでわかる範囲で集計

○ 人口一人当たり個人貸出冊数

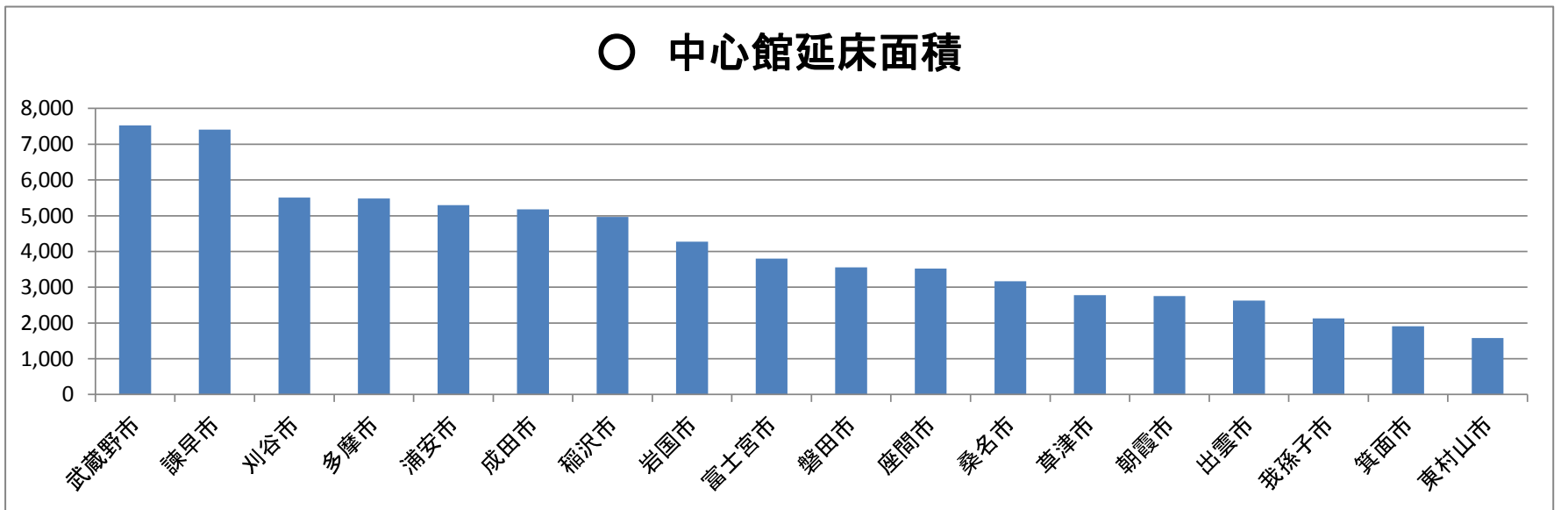
団体名	冊数
武蔵野市	17.2
浦安市	12.6
箕面市	11.9
多摩市	11.6
稲沢市	11.2
草津市	9.1
桑名市	9.0
我孫子市	8.7
岩国市	8.5
諫早市	8.0
成田市	7.8
磐田市	7.7
東村山市	7.4
出雲市	7.3
座間市	7.3
刈谷市	7.3
富士宮市	7.2
朝霞市	7.1



☆ 貸出利用は、同一規模の図書館の中で多い方である。(人口10万～15万で、箕面市に抜かれ3位)

○ 中心館延床面積

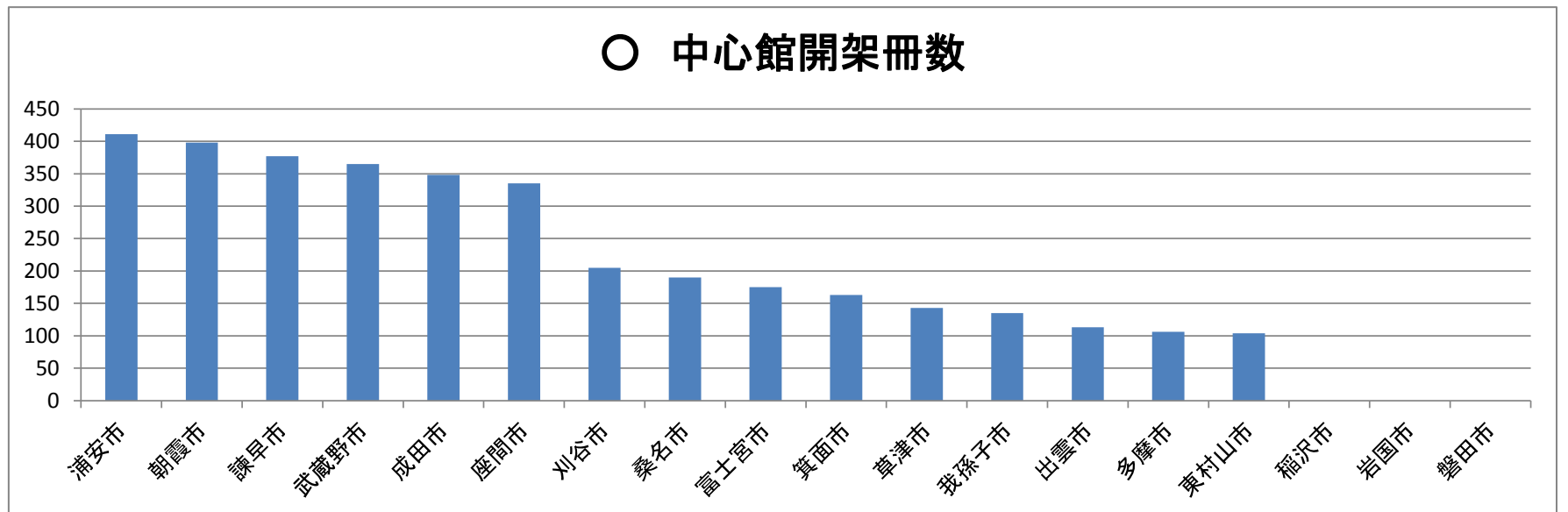
団体名	延床面積
武蔵野市	7,529
諫早市	7,405
刈谷市	5,509
多摩市	5,480
浦安市	5,296
成田市	5,179
稲沢市	4,968
岩国市	4,278
富士宮市	3,802
磐田市	3,560
座間市	3,524
桑名市	3,169
草津市	2,781
朝霞市	2,752
出雲市	2,629
我孫子市	2,125
箕面市	1,910
東村山市	1,582



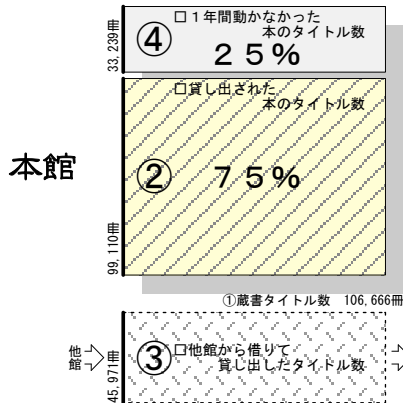
☆ 多摩市の現在の本館も、面積だけ見ると規模が大きいほうである

○ 中心館開架冊数

団体名	千冊
浦安市	411
朝霞市	398
諫早市	377
武蔵野市	365
成田市	348
座間市	335
刈谷市	205
桑名市	190
富士宮市	175
箕面市	163
草津市	143
我孫子市	135
出雲市	113
多摩市	106
東村山市	104
稲沢市	N/A
岩国市	N/A
磐田市	N/A



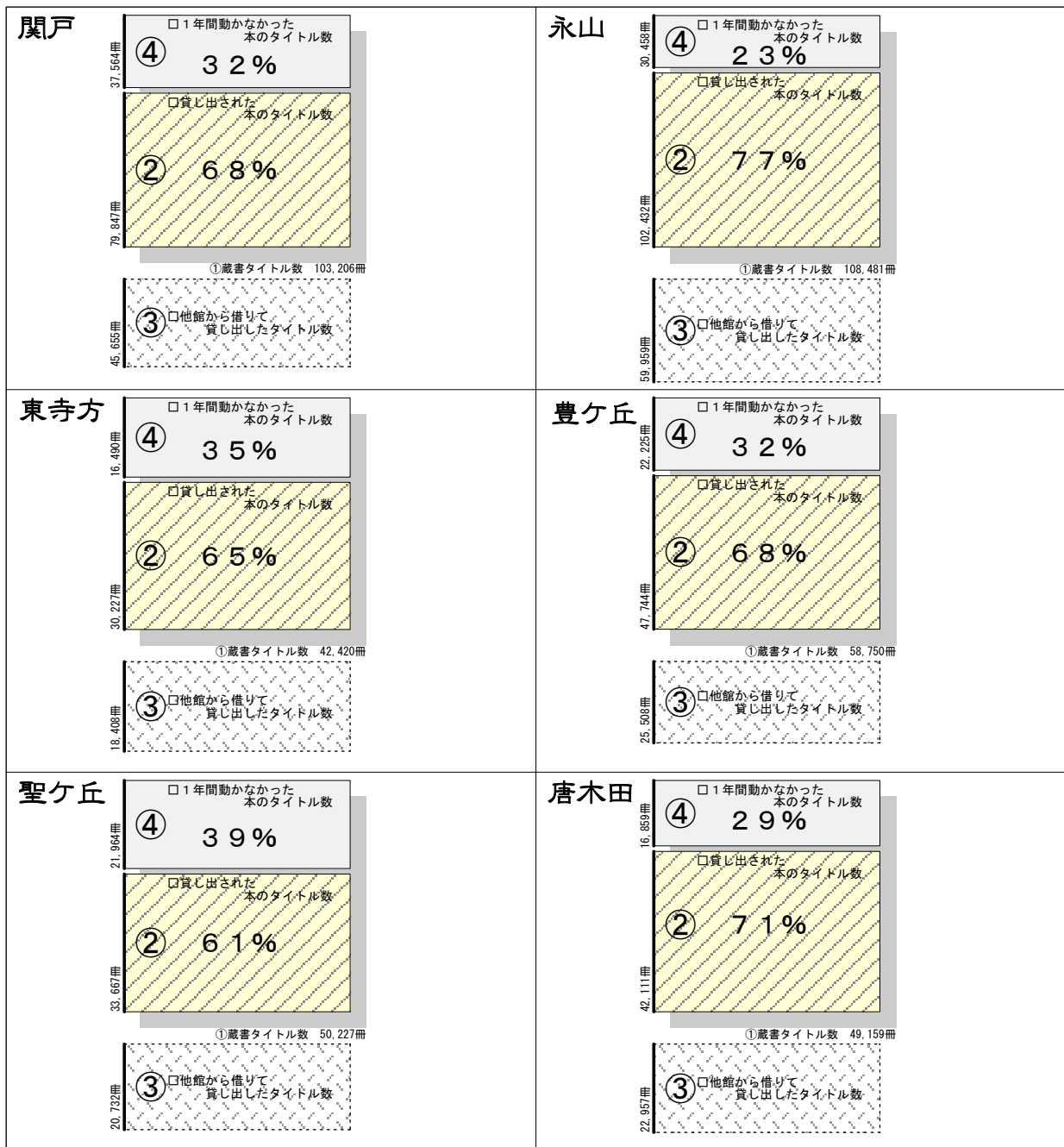
多摩市図書館全域の蔵書配置再編への考察：7館の開架の活性化を考える



※) 左は開架資料のタイトル数の割合 (別途閉架に16.4万冊)

→地域館・駅前拠点館の開架を魅力的に発展させるため資料と場に、どんな展開が考えられるべきか。

- ・動かない本：
- ・自館に補強すべき基本図書：
- ・新聞雑誌など新情報：
- ・くつろぐ居場所／お話し催事やワークショップの拡大



さらに知りたい。□地域館の利用される本の特色から読み取れる再編の方向性

■ 【参考資料】多摩市と浦安市の比較

○ 雑誌(集中/分散の状況など)

	多摩市	浦安市
総冊数	582	741
タイトル数	389	584
平均複本数	1.50	1.27

平均複本数: 総冊数÷タイトル数

多摩市	タイトル数	タイトルカバー率	浦安市	タイトル数	タイトルカバー率
本館	80	20.6%	中央	469	80.3%
関戸	104	26.7%	堀江	50	8.6%
永山	131	33.7%	富岡	42	7.2%
東寺方	65	16.7%	美浜	39	6.7%
豊ヶ丘	62	15.9%	当代島	41	7.0%
聖ヶ丘	63	16.2%	日の出	50	8.6%
唐木田	61	15.7%	高洲	50	8.6%
行政資料室	16	4.1%	合計	741	
合計	582				

タイトルカバー率: 各館タイトル数÷全館タイトル数×100

○ 地域館における本の新鮮度(よく利用される3分野について)

	「日本の図書館2017」より			地理、旅行書			健康、医学、薬学			生活科学、料理、育児		
	延床面積 (㎡)	蔵書冊数 (千冊)	貸出冊数 (千冊)	蔵書冊数 (冊)	うち出版年2013~2017		蔵書冊数 (冊)	うち出版年2013~2017		蔵書冊数 (冊)	うち出版年2013~2017	
					冊数(冊)	構成比		冊数(冊)	構成比		冊数(冊)	構成比
多摩市立 東寺方図書館	551	40	88	1,107	362	32.7%	936	404	43.2%	1,724	519	30.1%
浦安市立 堀江図書館	275	46	105	1,627	1,024	62.9%	1,022	468	45.8%	4,253	1,777	41.8%

■【参考資料】全館資料の再編シミュレーション(児童、ティーンズ、障がい者サービス、視聴覚資料を除く一般向け図書)

※ 一般向け図書の数字には、地域資料、参考図書を含む。

① 現在の構成

	本館	関戸	永山	東寺方	豊ヶ丘	聖ヶ丘	唐木田	行政資料室	書庫	団体貸出室	合計
一般向け図書	73,726	75,306	73,096	27,213	40,096	34,974	30,895	9,859	162,299	642	528,106
合計	73,726	75,306	73,096	27,213	40,096	34,974	30,895	9,859	162,299	642	528,106

② 地域館の一般書のうち、古くて動かない本25%(新聞縮刷版含む)を、本館(うち、開架に30%、書庫に70%)に移動する。

	本館	関戸	永山	東寺方	豊ヶ丘	聖ヶ丘	唐木田	行政資料室	書庫	団体貸出室	合計
一般向け図書	73,726	75,306	73,096	27,213	40,096	34,974	30,895	9,859	162,299	642	528,106
増減	9,988	0	0	▲ 6,803	▲ 10,024	▲ 8,743	▲ 7,723	0	23,305	0	0
合計	83,714	75,306	73,096	20,410	30,072	26,231	23,172	9,859	185,604	642	528,106

※ 地域館については、「29(旅行書)」「49(健康・医学)」「59(家政学)」の新しい本で別途補強

③ 専門的なレファレンス機能を本館に集約(参考図書を移動)うち50%は書庫へ

	本館	関戸	永山	東寺方	豊ヶ丘	聖ヶ丘	唐木田	行政資料室	書庫	団体貸出室	合計
一般向け図書	83,714	75,306	73,096	20,410	30,072	26,231	23,172	9,859	185,604	642	528,106
うち参考図書	2,697	4,370	6,242	1,100	1,192	1,215	599	106	6,352	0	23,873
参考図書増減	2,560	▲ 1,370	▲ 3,242	▲ 100	▲ 192	▲ 215	0	0	2,559	0	0
合計	86,274	73,936	69,854	20,310	29,880	26,016	23,172	9,859	188,163	642	528,106

④ 駅前拠点館の動かない本を本館に移設。狭い閲覧スペースの改善、居場所の確保、自動予約受取。うち30%は書庫へ

	本館	関戸	永山	東寺方	豊ヶ丘	聖ヶ丘	唐木田	行政資料室	書庫	団体貸出室	合計
一般向け図書	86,274	73,936	69,854	20,310	29,880	26,016	23,172	9,859	188,163	642	528,106
拠点館蔵書減	16,653	▲ 13,936	▲ 9,854	0	0	0	0	0	7,137	0	0
合計	102,927	60,000	60,000	20,310	29,880	26,016	23,172	9,859	195,300	642	528,106

⑤ 書庫の資料の精査。平成28年度のペースで、2018年度～2020年度で資料を除籍

	本館	関戸	永山	東寺方	豊ヶ丘	聖ヶ丘	唐木田	行政資料室	書庫	団体貸出室	合計
一般向け図書	102,927	60,000	60,000	20,310	29,880	26,016	23,172	9,859	195,300	642	528,106
書庫資料の精査	0	0	0	0	0	0	0	0	▲ 26,469	0	▲ 26,469
合計	102,927	60,000	60,000	20,310	29,880	26,016	23,172	9,859	168,831	642	501,637

⑥ 書庫の資料の精査。書庫から開架に適した資料を移動

	本館	関戸	永山	東寺方	豊ヶ丘	聖ヶ丘	唐木田	行政資料室	書庫	団体貸出室	合計
一般向け図書	102,927	60,000	60,000	20,310	29,880	26,016	23,172	9,859	168,831	642	501,637
書庫資料の精査	42,207	0	0	0	0	0	0	0	▲ 42,207	0	0
合計	145,134	60,000	60,000	20,310	29,880	26,016	23,172	9,859	126,624	642	501,637

⑦ 本館新館準備用資料(2020年度～2022年度)。なお、毎年の通常新規購入分と、陳腐化による通常除籍分は同じと想定し、増減なしとする。

	本館	関戸	永山	東寺方	豊ヶ丘	聖ヶ丘	唐木田	行政資料室	書庫	団体貸出室	合計
一般向け図書	145,134	60,000	60,000	20,310	29,880	26,016	23,172	9,859	126,624	642	501,637
新館準備分	25,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25,000
合計	170,134	60,000	60,000	20,310	29,880	26,016	23,172	9,859	126,624	642	526,637